

ひろしまの遺跡

第123号

県内3例目の圭頭大刀が出土！

— 箱山第1・2号古墳（三次市） —



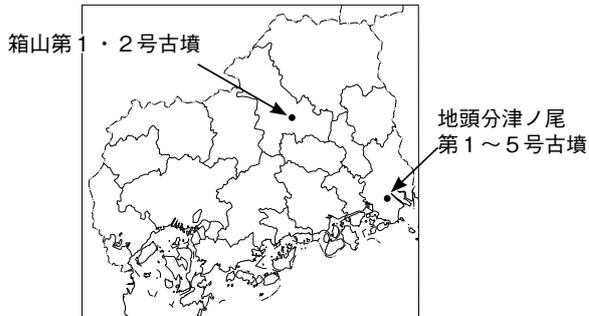
第1号古墳玄室内遺物出土状況



圭頭大刀柄部分（拡大）

箱山第1号古墳の横穴式石室からは、副葬品として須恵器のほか、耳環や勾玉などの装飾品が多数出土しました。特に注目する遺物としては、「圭頭」と呼ばれる柄の部分に袋状の装飾が付属する大刀が出土したことです。圭頭大刀については広島県内でも出土例が少なく、荒神古墳（安芸高田市甲田町）、奥今田第2号古墳（北広島町）の2例が知られているのみです。

発掘調査速報



箱山第1・2号古墳 (三次市向江田町)

調査期間 令和元年10月15日～令和2年1月22日

箱山古墳群は、三次市向江田町にある全9基の古墳群です。今回の調査は林地荒廃防止事業に伴うもので、第1・2号古墳の発掘調査を行いました。第3～6号古墳については、平成18年度に中国横断自動車道尾道松江線建設に伴い発掘調査が行われています。

第1号古墳は、南北13m以上、東西約11mの楕円形の墳丘をもつ円墳です。北側の斜面上には周溝が巡り、底面から須恵器の大甕の破片がまとまって出土しています。埋葬施設は無袖の横穴式石室ですが、遺体を葬る「玄室」とその通路である「羨道」が石で仕切られていました。玄室の床面は石が敷き詰められた「磔床」でした。天井石は7枚残っており、最大のものは長さ1.3m、幅0.8m、厚さ0.7m、重さ1t以上です。石室は調査区外まで延びる長大なもので、長さは9m以上と推定されます。そのうち玄室は約3m、羨道約6m、幅約1.4m、高さ約1.3mです。また、石室奥壁と開口部の高さはその差1m以上と大きく、羨道はかなり傾斜していました。調査の結果、古墳は未盗掘と考えられ、床面からは須恵器の杯蓋・杯身・高杯・短頸壺のほか、耳環、勾玉、切小玉、管玉、丸玉、ガラス小玉などの装飾品が多数出土しました。

第2号古墳は墳丘の一部を調査したのみで、埋葬施設は不明です。墳丘の形状は円墳または方墳と考えられ、表面には葺石が確認されました。(恵谷泰典)



第1号古墳 石室検出状況 (南から)



第1号古墳 羨道部遺物出土状況



② 地頭分津ノ尾第1～5号古墳 (福山市瀬戸町)

調査期間 令和元年5月7日～12月20日

地頭分津ノ尾第1～5号古墳の調査は、一般国道2号改築(福山道路)工事に伴って行いました。古墳群は、瀬戸町内を北流する瀬戸川の西側で南北方向に延びる丘陵上に立地しています。各古墳の頂部の標高は約65～71mで、西側の水田面と最高所に立地する第1号古墳との高低差は約40mあります。

丘陵北端に立地する第1号古墳から順に第2・3・4号古墳、南端が第5号古墳で、径10～13m程度の円墳です。第1号古墳から第5号古墳は約200m離れています。

これらの古墳は、位置的に第1・2号古墳、第3・4号古墳、第5号古墳の3グループに分けることができます。今回の調査は、主に第2～5号古墳の調査を実施しました。埋葬施設は第5号古墳が削平を受けて確認できませんでしたが、第3・4号古墳が木棺墓と考えられ、第2号古墳は箱式石棺です。これらの埋葬施設の主軸方位はほぼ東西方向です。

遺物は細片が多く、第5号古墳から5世紀中頃の須恵器片と土師器片が出土しています。第2号古墳からは鉄剣1点と鉄鎌1点、棺内から人骨が出土しました。棺の内側と人骨頭部には赤色顔料が施されていました。石棺の規模は2.1mで、頭部側の東側小口幅が0.4m、西側小口幅が0.2mです。人骨は取上げ時の所見で、身長が165cm以上の壮年男性と分かりました。

5基の古墳の築造順は不明ですが、第2～5号古墳は、概ね5世紀代に築造された古墳と考えられます。

詳細な時期や人骨の分析については、今後の整理作業で明らかにして行きます。(山田繁樹)



古墳群空中写真(南西から)



第2号古墳(北東から、奥は第3号古墳)



第2号古墳作業風景



第2号古墳人骨出土状況(西から)

知られざるひろしまの遺跡探訪

広島発！ローカル(乗合)列車・バスで行く遺跡探訪ツアー



坂部第4号古墳



本谷川砂留



清神社



郡山城跡

第3回は福山市津之郷町へ。この地域は山陽自動車道建設時や近年のバイパス工事等で発掘調査が多く行われています。ツアーでは現在も残る古墳や江戸時代の砂留などを見学しました。備後赤坂駅から福山サービスエリアを目指して、てくてくと歩きました。かつて西国街道だった道沿いには、当時の面影を残す家や風景をみることができます。

見学した坂部第3・4号古墳(移設復元したもの)では横穴式石室内を、本谷第1号古墳では天井石を上から見るすることができます。古墳としては大きなものではありませんが、見ごたえは十分です。

福山サービスエリアで昼食をとったあとは、本谷川砂留を見学しました。砂留は江戸時代につくられた砂防ダムで、改修をしながら現在も地域を守っています。多くの石を積んだ圧巻の景色に、みんな驚いていました。

帰りはちょっとしたハプニングもありましたが、無事に帰路につくことができました。

第4回は安芸高田市吉田町へ。言わずと知れた毛利元就の本拠地です。安芸高田市教育委員会の秋本さんのガイドで、天文9(1540)～10(1541)年の郡山合戦時に使われたと考えられる、近年新しくみつかった山城跡を朝から巡りました。山城跡は木や草で遺構がわかりにくく、説明がなければ見落としてしまうことが多いのですが、秋本さんのガイドのおかげで堀切や郭などをしっかりと見学することができました。

午後は安芸高田市歴史民俗博物館で企画展を見学し、その後郡山城跡(旧本城跡)を目指して出発！郡山城跡の本丸は山の頂上にありますが、郡山合戦時にはまだ山全体が城郭化されておらず、本丸は旧本城跡にありました。三矢の訓碑や、郡山城築城以前からあるとされる清神社などを見学した後、旧本城跡を目指しました。清神社では樹齢千年を超える杉の御神木に心を奪われ、紅葉を眺めながら山を登りました。ひたすら山城を見学し、とてもハードなツアーでしたが、解散後も山頂を目指して行かれた方々も多く、皆さんの体力と熱心さにスタッフも驚きました。

今年度も無事に遺跡探訪ツアーを終了することができました。今年度から参加者多数の場合は抽選としましたが、多くの方に申込みいただきました。ありがとうございました。(順田千織)

令和元年度

ひろしまの 遺跡を語る

ひろしまの遺跡2019

—報告と講演—

令和2年2月1日（土） 広島県民文化センター

今年度の「ひろしまの遺跡を語る」は、国立歴史民俗博物館名誉教授の春成秀爾さんをお招きして、「神武東征伝と考古学」と題して記念講演を開催しました。

講演では、東征の経路をたどりながら、記紀編集者がイメージした安芸埃宮（あきのえのみや）や吉備高嶋宮（きびのたかしまのみや）の場所の考証や、神武東征伝が近代日本の国家観に利用された背景など、多岐にわたってご講演いただきました。また、沖ノ島と巖島の類似性などについてもお話いただき、ひろしまと古代祭祀の関りについてもお話いただきました。

そのほか、当調査室が実施した調査報告を3本行いました。当日、会場には236名の来場者があり、大変熱心にお聞きいただきました。ありがとうございました。（伊藤 実）



講演中の春成秀爾さん



会場風景



展示会場

令和元年度ひろしまの遺跡を語る

ひろしまの遺跡2019 — 報告と講演 —

【第1部・報告】

- 13:00～13:10 開会行事
- 13:10～13:30 報告Ⅰ 「地頭分津ノ尾古墳群の発掘調査」
- 13:30～13:50 報告Ⅱ 「鞆港湾施設跡の発掘調査」
- 13:50～14:10 報告Ⅲ 「箱山第1・2号古墳の発掘調査」
- 14:10～14:30 休憩（事務連絡・展示見学）

【第2部・記念講演】

- 14:30～16:00 「神武東征伝と考古学」
国立歴史民俗博物館名誉教授 春成秀爾氏
- 16:00～16:10 閉会行事

平和大通り 青空ギャラリー2020

令和2年1月19日（日）に全国男子駅伝協賛イベントの平和大通り青空ギャラリー2020に参加しました。毎年このイベントでは和同開珎の鑄造体験を行っていますが、たくさんの子供たちが参加してくれました。リピーターも多く、造ったお金をかばんにつけてくれている子供もいました。寒い中でしたが、楽しい思い出になったようです。（山田繁樹）



みんな上手にできました！

— 考古学おいでまいど —

「ひろしま考古学講座」は今年で8回目を数え、すっかり定着した感があります。今年度はこれまでの皆様からのアンケートで要望が多かったテーマや事柄に焦点をあて、オンデマンド (On Demand) 企画として、県内の担当者等による講座を開催しています。聴講者は毎回100名を超え、第2回目以降は会場からあふれるほどの参加者があり、スタッフはイス運びに汗を流しました。これからも皆様の要望にできる限り沿った魅力ある企画を提供したいと思います。(伊藤 実)

回	期 日	演 題	講 師
1	2019(令和元)年 12月21日(土)	世界遺産・百舌鳥古市古墳群とひろしまの古墳	伊藤 実 (当事業団 埋蔵文化財調査室)
2	2020(令和2)年 1月18日(土)	郡山合戦を再検討する —城跡の分布調査から見えるもの—	秋本 哲治 (安芸高田市教育委員会 生涯学習課)
3	2月15日(土)	三次の古墳の謎	桑原 隆博 (三次市教育委員会 文化と学びの課)
4	2月22日(土)	駅路山陽道と駅の話 —どんなことが分かっているのか—	谷重 豊季 (府中市歴史民俗資料館)
5	3月14日(土)	伝吉川興経の首塚を掘る！	佐々木直彦 (北広島町教育委員会 生涯学習課)
6	3月21日(土)	遺跡出土品にみるリサイクル —広島県内中世遺跡を中心に—	岩本 芳幸 (当事業団 埋蔵文化財調査室)

※第5・6回については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期しました。



第1回(聴講者119名)



第2回(聴講者165名)



第3回(聴講者167名)



第4回(聴講者136名)

考古学 アラカルト 55

過去とつながる「れきし体感学習セット」

埋蔵文化財調査室には、広島県の遺跡から発掘された数多くの出土品が保管されています。その中から、弥生時代と古墳時代に実際に使用されていた土器等を厳選し、「れきし体感学習セット」にまとめています。小中高等学校での歴史学習や地域学習等の授業で活用していただいています。この度は、学校行事でご利用いただいた府中町立府中中学校の様子をお伝えいたします。

令和元年11月2日(土)に行われた文化祭で、「れきし体感学習セット」を図書室に展示させていただきました。司書の先生には、考古学に関する書籍等を多数揃え、府中町に関する資料や新聞の切り抜きを掲示して、展示物に関心が向くよう環境を整えていただきました。図書室を訪れた皆さんには、遙か昔の人々の生活を感じていただくことができたのではないかと思います。会場では「教科書で見たことがある」「意外と重い」「触って壊しそうでこわい」などの声も聞こえていました。

出土品の解説作成などの展示準備や開館中の監視スタッフを務めてくれた図書委員会の皆さん、ありがとうございます。皆さんからの感想は、今後の活用に役立てていきます。「本物を見るのは初めてだけど、説明があったので分かりやすかった。準備は大変だったけど、見学者が来てくれてよかった。」「遺跡や博物館でしか見られないと思っていた人が大半だと思うので、そんな物が身近な学校で見られて、触ったりすることは貴重な体験になると思う。」「実物があってすごいと思いました。写真だけでは分からないことがあったけど、実物を見ると分かることがあったのでいいと思いました。」「本物の石包丁や土器に触れて、解説もしてもらえた。友達も『包丁なのに切れないね』などと言って触っていた。珍しい体験ができたので、またやってほしい。」「壺とか石とか、いろいろあってすごかった。説明の掲示物も分かりやすかった。でも、次からは触ってもいいかダメか書いておくといいと思った。」

当時の生活を遺跡や遺物から解明する難しさ面白さのある考古学です。弥生・古墳時代の生活を感じることができる「れきし体感学習セット」を通して、過去とつながってみませんか。



弥生時代の石斧に触れてみる



古墳時代の須恵器高杯を見つめる



府中町の史跡・遺跡を紹介



府中町立図書館おすすめの本を紹介



図書室おすすめの本を紹介



新聞の切り抜き掲示

発掘調査研修

当室では広島県教育委員会からの委託により、広島県内市町の文化財担当者を対象とした研修を行っています。研修には基礎課程と実習課程があり、今年度は7月23・24日に基礎課程、10月8・9日に実習課程を行いました。基礎課程では考古資料の取り扱いや報告書の作成の流れなどを学びます。実習課程は、実際に発掘調査中の遺跡現地で地形測量や土層観察、遺構の実測などを行います。今年度は地頭分津ノ尾古墳群で実施しました。調査員基礎課程は6名、実習課程には4名の参加がありました。（恵谷泰典）



基礎課程



実習課程

お知らせ

令和元年度の発掘調査報告書等を刊行しました。

ご希望の方は調査室へお問い合わせください。

	書名	市町名	概要	頒価
埋文報告 第85集	野原山城跡	広島市	北西方向に延びる丘陵の先端近くに立地し、主郭と推定される平坦面1と、平坦面の西側に1条、南側に1条、東側に5条の堀切・堅堀を確認した。 平坦面1は溝によって区画され、居館の存在が推定される。出土遺物から15世紀に利用されたと考えられる。 平坦面1の東側にある平坦面2では古墳時代前期の竪穴式石室が見つかった。	600 (送料別)
埋文報告 第86集	小野寺廃寺跡	東広島市	小野篁所生の伝説がある竹林寺の末寺と伝わる寺院跡である。出土遺物から15世紀には成立していたと考えられる。	300 (送料別)
活動報告 第9集	平成30年度「ひろしまの遺跡を語る」 ひろしまの遺跡2018—報告と講演—	—	静岡大学名誉教授の小和田哲男さんによる講演「中世山城の魅力」と、平成30年度に当事業団が調査した遺跡についての発掘調査報告の全記録。	400 (送料別)
—	年報16	—	平成30年度における当調査室の実施した事業概要のまとめ。	—

お知らせ

第4回まで開催しました考古学講座については、多くの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、3月に予定していた第5・6回の考古学講座を延期しました。開催日時等については、改めてお知らせいたします。何卒ご理解頂きますよう、お願い申し上げます。

(公財)広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室報 ひろしまの遺跡 第123号

発行日 令和2年3月23日
編集 (公財)広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室
〒733-0036 広島市西区観音新町4丁目8-9
TEL(082)295-5751 FAX(082)291-3951
ホームページ <http://www.harc.or.jp/>
E-mail maibun@harc.or.jp
発行 (公財)広島県教育事業団
印刷 株式会社ニシキプリント

